

各地の都市ボランティアへ 消毒液、指さし会話帳、ボランティアガイド、eラーニングを提供

一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンター（以下、「ボラサポ」）は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における都市ボランティアを運営する自治体等10団体の都市ボランティアへ、携帯用アルコール消毒液、小冊子「指さし会話帳」「ボランティアガイド」、Eラーニングのプラットフォームの提供を行いますので、お知らせいたします。

※提供先：札幌市、宮城県、福島県、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会茨城県推進会議（茨城県）、2020オリンピック・パラリンピックノラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会（埼玉県）、千葉県、横浜市、藤沢市、山梨県、静岡県

■概要

ボラサポは、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大等により過去大会等では想定されなかった必要物品や、サポート方法についての正しい知識を得ることが重要だと考え、下記4つを提供することといたしました。

安全安心な大会運営とボランティアの方の健康を守ることが第一であると考えています。

【携帯用アルコール消毒液】

ボランティアが実際に活動するにあたって手指の消毒が必要な時にすぐ近くにアルコール消毒液が設置されていない場面も想定されるため、携帯用アルコール消毒液をお渡しします。

配布数：4/27(火)から10団体へ約17,000個順次配布

【指さし会話帳】

日本語でのコミュニケーションに不慣れな外国籍の方や、聴覚に障害のある方などとのコミュニケーションに際して、記載されている文章を指さしで示してやり取りをすることで意思疎通を図る指さし会話帳を9言語（日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語）で作成しました。感染症予防の項目も記載しています。（協力：株式会社 情報センター出版局）

配布数：4/27(火)から10団体へ約15,000部を順次提供（A3見開き）



【ボランティアガイド】

コロナ禍でボランティア活動する上での基本的な注意点をまとめた「ボランティアの心構え with コロナ編」、コロナ禍で障害者をサポートするときの留意事項をまとめた、「視覚障害者編」、「車いすユーザー編」、「聴覚障害者編」の小冊子4種(いずれもA4 見開き)を作成しました。

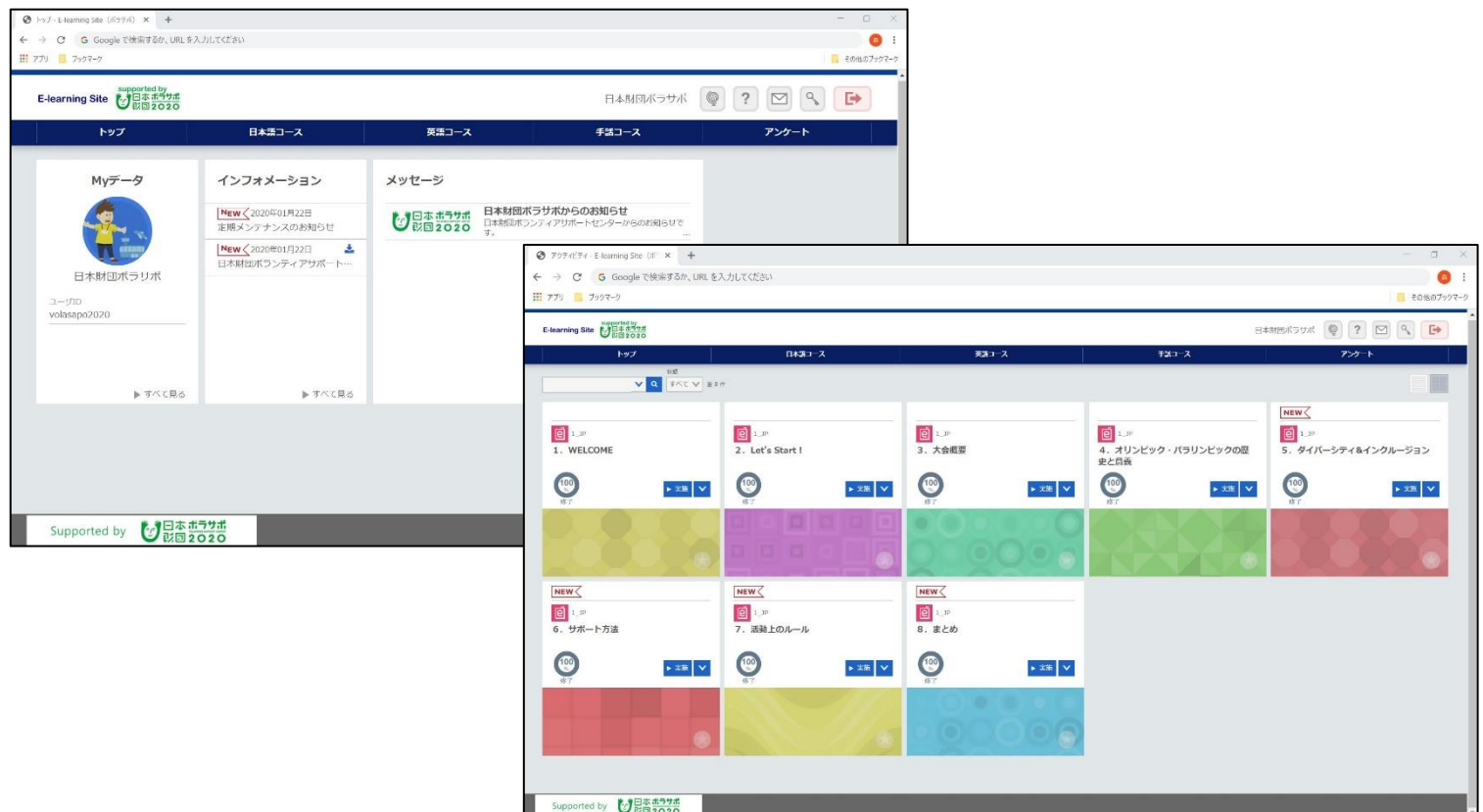
配布数：4/27(火)から9 団体（静岡県除く）へ計 14,000 冊を順次提供



【E-ラーニング】

チームワークづくりに役立つリーダーシップをオンラインで学べるように、e-ラーニングのプラットフォームを再提供します。

アカウント数：4/9(金)から 10 団体へ約 16,000 人分のアカウントを付与済み



「一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンター」概要

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と日本財団が2017年6月に締結したボランティアの連携・協力に関する協定に基づき、当該協定に係る事業を実施する団体として設立されました。当財団は、ボランティア育成を通じた2020東京大会の成功と、大会後に繋がるボランティア文化の醸成を目指しています。

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3階 代表者：渡邊 一利（笹川スポーツ財団 理事長） 設立：2017年9月29日

【本件に関するお問い合わせ】日本財団ボランティアサポートセンター 広報部 倉田・小久保
携帯：070-7514-4529 Email: pr@volasapo.tokyo ※ボラサポでは現在、在宅勤務を実施中です。

